

ぼかし販売所一覧

施設名	住所	電話番号
ふじひろみ(伝法)	伝法 510-5	21-6776
富士市役所(2階あいあい) <small>販売時間 9時30分~14時</small>	永田町1-100	
市民ふれあいバンク(宇東川)	宇東川西町 8-39	51-3080
ひめな(比奈)	比奈 1376-1	34-7100
JA 伝法支店	伝法 2800-1	52-5110
フィランセ東館(本市場)	本市場 432-1	64-8990
ふれあいショップあゆみ(松岡)	松岡 566-4	64-0694
竹の子(横割)	横割 1-20-13	64-0881
鷹身工芸社(久沢)	久沢 1018-4	71-0105
ふじばら作業所(中之郷)	中之郷 4106-1	81-1144
JA 富士川支店	中之郷 724	81-1025
シオサカ薬局	中之郷 1264-1-5	81-3005
富士川スーパー	中之郷 812	81-0043

製造施設

令和4年2月1日時点の販売施設です。

(予告なく販売終了となる場合があります)



EMぼかしはお近くの販売所でご購入ください。1袋=300gで、バケツ2つ分に使用できます。長期保存は難しいため、1度にたくさん購入するのはお控えください。

EMぼかしを使って 元気な野菜を作ろう!



EMぼかしってなんですか？



EMとは環境や生物に有用な働きをする微生物群です。EMぼかしとは米ぬか・もみ殻にEMと糖蜜を混合し、醗酵・乾燥させたものです。EMぼかしと生ごみを混ぜて発酵させることにより、**生ごみ発酵堆肥**ができるよ。

どんな「生ごみ」を堆肥化できるの？



野菜くず、茶がら、コーヒー豆の搾りかす、残飯、せんべい、などなど…「生ごみ」ならばなんでも大丈夫だよ。新鮮なものが良いので、その日に出たものは、その日に処理するといいは。**堆肥化できないものは、骨・タバコ・アルミホイルラップ・ビニール・腐った生ごみなどだよ。**

—お問い合わせ先—

富士市役所廃棄物対策課 TEL0545-55-2769 FAX0545-51-0522

生ごみ発酵堆肥の作り方

用意するものはなんですか？



用意するものは、

- ①密閉できる容器
- ②EM ぼかし(ぼかし販売所一覧参照)
- ③生ごみ(新鮮なものが良いです)
- ④ビニール手袋(臭いが気になる人)



【事前準備】 はじめるまえに

密閉容器の下に水切り台を置きます。続いて竹串等で細かい穴を開けたビニール袋をかぶせます(これにより、投入した生ごみから出る水と、生ごみが触れないようにすることができます)。あらかじめビニールの底にぼかしの少しましを敷いておきましょう。



①高さのあるもの(植木鉢の皿など)を置きます。②穴を(5-6箇所)開けたビニール袋をかぶせます。



手順1 新鮮な生ごみの水分をよく切る。

生ごみは新鮮なものを使います。水分を切るのは、生ごみの腐敗を防ぐためです。また細かい方が、EM がよく働きます。できるだけ細かくしましょう。腐ったものや骨、ごみ(ビニール・アルミ・タバコなど)は堆肥にできませんので、取り除いてください。

手順2 生ごみを容器に入れ、ぼかしのふりかけ。

生ごみとEM ぼかしは 100:1 の割合。

夏場やたんぱく質類には多めにふりかけます。生ごみになじむようにまぶし、空気をなるべく抜くようにふたをしっかり閉めてください。

容器が一杯になるまで繰り返していきます。

途中で水分がでてきたら、できるだけ早く取り出します(出てきた水分は、約 1,000 倍に希釈すれば、液肥として使用できます。)

手順3 熟成させ、土に戻す。

夏 1 週間・冬 2 週間程度、直射日光の当たらない場所においてください。ぬか漬けのようなすっぱい発酵臭がしたら土に戻します。生ごみの形がそのまま残っていても土に戻してください。出来上がった直後は酸性が強いため、植物から少し離れた場所へ戻しましょう。夏 2 週間、冬 1 ヶ月程度で、ほとんど土に戻ります。



白カビが発生することがありますが、腐敗ではありません。順調に発酵しています。



植物から少し離れた場所に戻します。生ごみが見えないように土をかけてください。